

ぬの びき 布 引

—景勝地から遊園地、テーマ型都市公園へ—

令和4年10月16日(日)～30日(日)

月～金：9時～17時

土・日：9時30分～16時30分

(※いずれも入館は閉館30分前まで)

布引は古来より「布引の瀧」のある景勝地として人々に親しまれ、近代以降は遊園地、テーマ型都市公園へと移り変わってきました。現代まで人々を魅了し続けてきた「布引」のさまざまな魅力を歴史の流れのなかで、多角的にご紹介します。

主催：神戸市文書館

後援：NHK 神戸放送局、神戸新聞社

協力：神戸市立博物館、神戸市立中央図書館



川西英「布引」『神戸百景』1962

神戸市立博物館蔵



布引雄滝



「布引の雌滝」『明治初期神戸写真帖』

神戸市立中央図書館蔵

神戸市文書館 Kobe City Archives

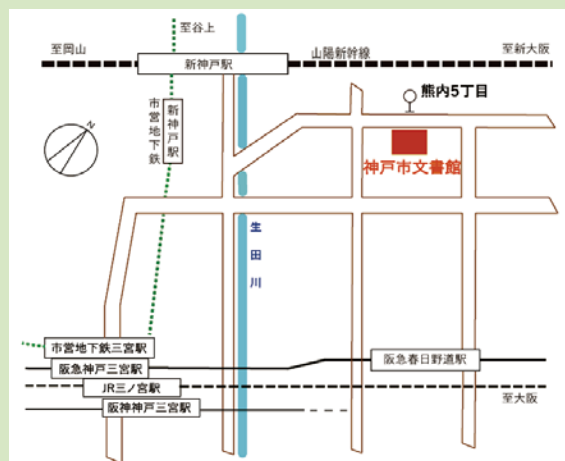
【アクセス】神戸市バス(2)(18)系統「熊内5丁目」バス停下車すぐ
神戸市営地下鉄「新神戸」駅下車 徒歩約15分

〒651-0056 神戸市中央区熊内町1-8-21

TEL:078-232-3437 FAX:078-232-3840

<https://www.city.kobe.lg.jp/a98523/bunsyokan/index.html>

観覧無料



令和4年度の神戸市文書館 企画展

「布引（ぬのびき）一景勝地から遊園地、テーマ型都市公園へ」

と題して開催いたします。

開催期間：令和4年10月16日（日）～10月30日（日）

会 期：15日間

開館時間：（平日） 9：00～17：00

（土・日曜） 9：30～16：30

※ただし、いずれも入館は閉館30分前まで

観 覧 料：無料

主 催：神戸市文書館

後 援：NHK 神戸放送局、神戸新聞社

協 力：神戸市立博物館、神戸市立中央図書館

【企画展示の概要】

「布引」は布を引いたような瀧の水流の様子から命名されたといわれ、古来より雄瀧・夫婦瀧・鼓瀧・雌瀧が連なった景勝地として知られ、人々に親しまれ、数々の書物・詩歌や絵画でも取り上げられてきました。

近代を迎えて、神戸開港に伴う外国人の進出による開発を危惧した「花園社中」によって遊園地としての整備が進められていきます。明治時代中頃には、この地を愛した川崎正蔵が本邸や「川崎美術館」を構えるとともに、地域の整備を行い、菩提寺として「大圓山徳光院」を砂山の背後に建立しました。しかし、阪神大水害による罹災や神戸大空襲の被害により、かつての川崎本邸の地は中央市民病院・布引中学校の敷地として活用されるに至ります。

昭和47年（1972）には、山陽新幹線の開業に伴う新神戸駅の新設を契機として、新たな展開を迎えます。布引周辺地域は大きく変貌を遂げ、観光地としての神戸への玄関口としての道筋をたどります。また、平成3年（1991）には神戸布引ハーブ園、神戸布引ロープウェイによるテーマ型都市公園へと発展します。近年では、新神戸駅前の再整備計画も進行しており、神戸の玄関口として新たな整備と発展が期待されています。

以上のように、古来より人々に親しまれ、現代まで人々を魅了し続けてきた「布引」のさまざまな魅力を歴史の流れのなかで、多角的にご紹介する企画展です。

【各節のテーマと主な展示内容】

- 1 名勝「布引の瀧」
- 2 布引遊園地
- 3 生田川の付け替えと生田川遊歩道の整備
- 4 川崎本邸と大圓山徳光院
- 5 布引と阪神大水害
- 6 山陽新幹線開業と新神戸駅の整備
- 7 神戸布引ハーブ園の開業
- 8 むすびにかえて～未来への展望～
（新神戸駅前広場再開発事業）